

第1回 越前市水道料金・下水道使用料等協議会 次第

日 時： 令和7年5月28日(水)

午後2時30分～4時

場 所： 越前市役所3階 第3委員会室

1 委 嘱 状 交 付

2 市 長 挨 拶

3 委 員 紹 介

4 会 長 及 び 副 会 長 選 出

5 諮 問

6 越前市水道料金・下水道使用料等協議会設置について

7 議 事

(1) 会議の公開について

(2) 下水道事業の概要について

(3) 下水道事業の経営状況

8 そ の 他

今後のスケジュールについて

令和7年5月28日

越前市水道料金・下水道使用料等協議会

会長 奥村 充司 様

越前市長 山田 賢一

下水道使用料の適正水準について（諮問）

越前市水道料金・下水道使用料等協議会設置規程に基づき、下記事項について貴協議会に諮問いたします。

記

1. 下水道使用料の適正水準について
2. 改定した場合における算定期間及び具体的な下水道使用料
3. 上記の実施時期

諮問理由

本市の下水道は、公共用水域の水質保全及び生活環境の改善等を担い、快適な暮らしに欠かすことのできない重要なインフラ施設として役割を果たしております。

一方で、家久浄化センター等の老朽化した施設や一部の管路が更新の時期を迎えているなど、今後多額の建設費用が見込まれており、事業を取り巻く経営環境はますます厳しさを増しています。そのような中、令和7年3月に「経営戦略」を改定し、現状分析及び将来見通しの試算を行ったところでありますが、持続的かつ安定的な事業運営を行うためには、使用料体系の見直しを含めた経営基盤の強化が不可欠であることから、下水道使用料の適正水準について、貴審議会の御意見を賜りたく諮問するものであります。

越前市水道料金・下水道使用料等協議会 委員名簿

	区 分	氏 名	出身団体等
1	学識経験者	奥村 充司	福井工業高等専門学校 環境都市工学科
2		横住 佳子	北陸税理士会武生支部
3		禿 寿	仁愛大学 人間学部 コミュニケーション学科
4	公共的団体の代表	宇野 純子	武生商工会議所推薦
5		山下 勝弘	越前市商工会推薦
6		永田 和子	越前市自治連合会推薦
7	使用者の代表	柴田 京子	林病院
8		下村 万里	(有) ほっとリハビリシステムズ
9		畝田 昭紀	(株) 平和堂 アルプラザ武生
10	公募委員	牧野 昭代	
11		牧井 三郎	

第1回 越前市水道料金・下水道使用料等協議会 座席表

齊藤副課長 玉木GL

(議長席)

PC	○
----	---

会	長
---	---

市	長
---	---

奥村委員

○

宇野委員

○

永田委員

○

下村委員

○

牧井委員

○

○ 横住委員

○ 山下委員

○ 柴田委員

○ 牧野委員

○	○	○	○	○	○
---	---	---	---	---	---

小谷副課長

須磨課長

山田建設部理事

山田建設部長

兵課長

市村所長

○	○	○	○	○	○
---	---	---	---	---	---

和田GL

木下GL

今井GL

竹間主査

原主事

○	○	○	○	○	○
---	---	---	---	---	---

受託事業者

適正な下水道使用料の検討について

第1回 越前市水道料金・下水道使用料等協議会

越前市 上下水道課

越前市水道料金・下水道使用料等協議会について

越前市水道料金・下水道使用料等協議会とは . . .

越前市附属機関設置条例に基づいて設置された附属機関の一つ

担任意務は、水道料金、下水道使用料等に関する調査審議

越前市水道料金・下水道使用料協議会設置規程

審議内容：適正な下水道使用料の検討等に関すること

任 期：委嘱を受けた日～令和9年3月31日

開催予定：令和7年度に4回程度開催する予定

今回は下水道使用料のみ審議を行う。
水道料金は令和3年に見直している。

議 題

- (1) 会議の公開について
- (2) 下水道事業の概要について
- (3) 下水道事業の経営状況について

(1) 会議の公開について

会議の公開について

越前市附属機関等の会議の公開に関する指針第3条

附属機関等の会議は、原則として公開する。

同第2項

会議を公開することにより、当該会議の公正または円滑な運営に支障が生ずると認められる場合は、会議を公開しないことができるとあり、第4条で「非公開の決定は附属機関の長が当該会議に諮って行う。

同第6条

附属機関の長等は、傍聴に認めるものの定員を会議に諮って定めることができる

事務局(案)

- ・本日の会議は公開する。
- ・次回以降の会議については、円滑な運営に支障が生ずるため、2, 3回目を非公開とする。
- ・4回目以降の会議については公開とする。
- ・傍聴者の定員は5名

(2) 下水道事業の概要について

下水道の役割

汚水をすみやかに生活区域から排除します。

トイレの水洗化と生活排水の処理

ハエ、蚊などの害虫や感染症の発生や悪臭を防ぐ。

街をきれいにする

きれいな水辺をつくる

浸水から街を守る

汚水を処理して川に流すため、川がきれいになり、海の環境も良くなります。

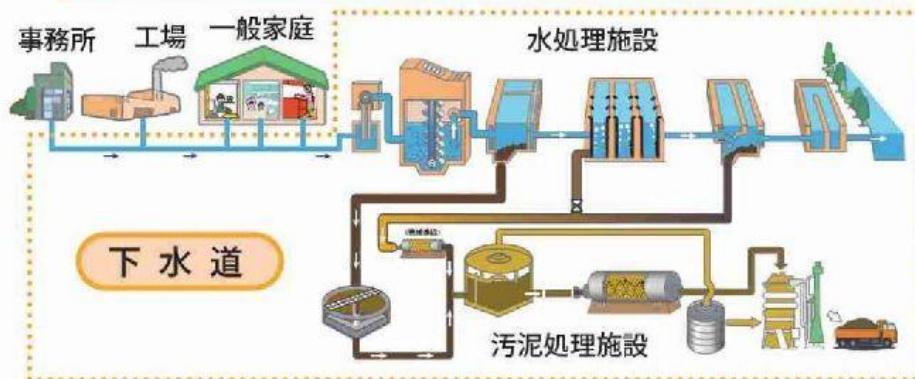
雨水管は雨を排除し、街を浸水から守ります。



下水道の種類

●集合処理方式

管渠で汚水を収集して、処理場で一括処理し河川等に放流。汚泥も合わせて処理。



越前市の下水道事業

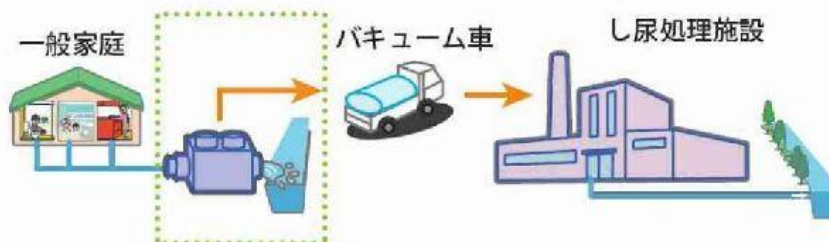
- ・公共下水道
- ・特定環境保全公共下水道
- ・農業集落排水施設
- ・林業集落排水施設

・戸別公共浄化槽

・個人設置型合併浄化槽

●個別処理方式

合併処理浄化槽

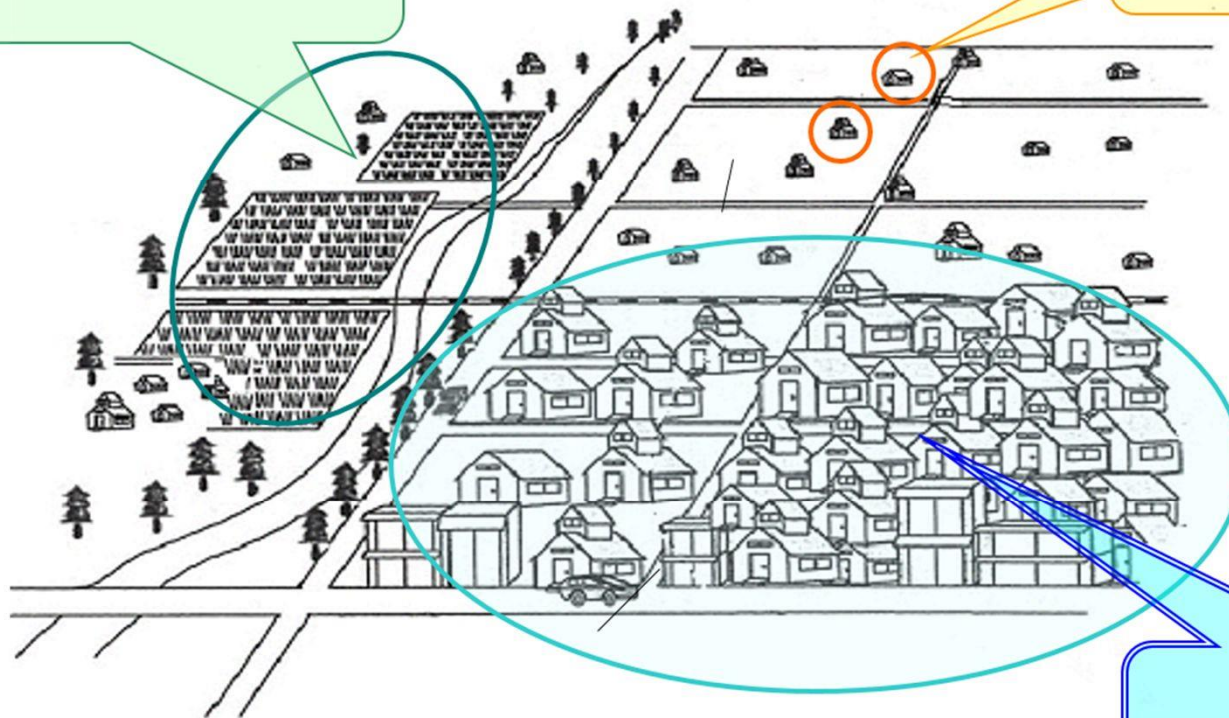


各家庭の浄化槽で処理し水路等に放流。汚泥は別途処理が必要。

下水道の種類

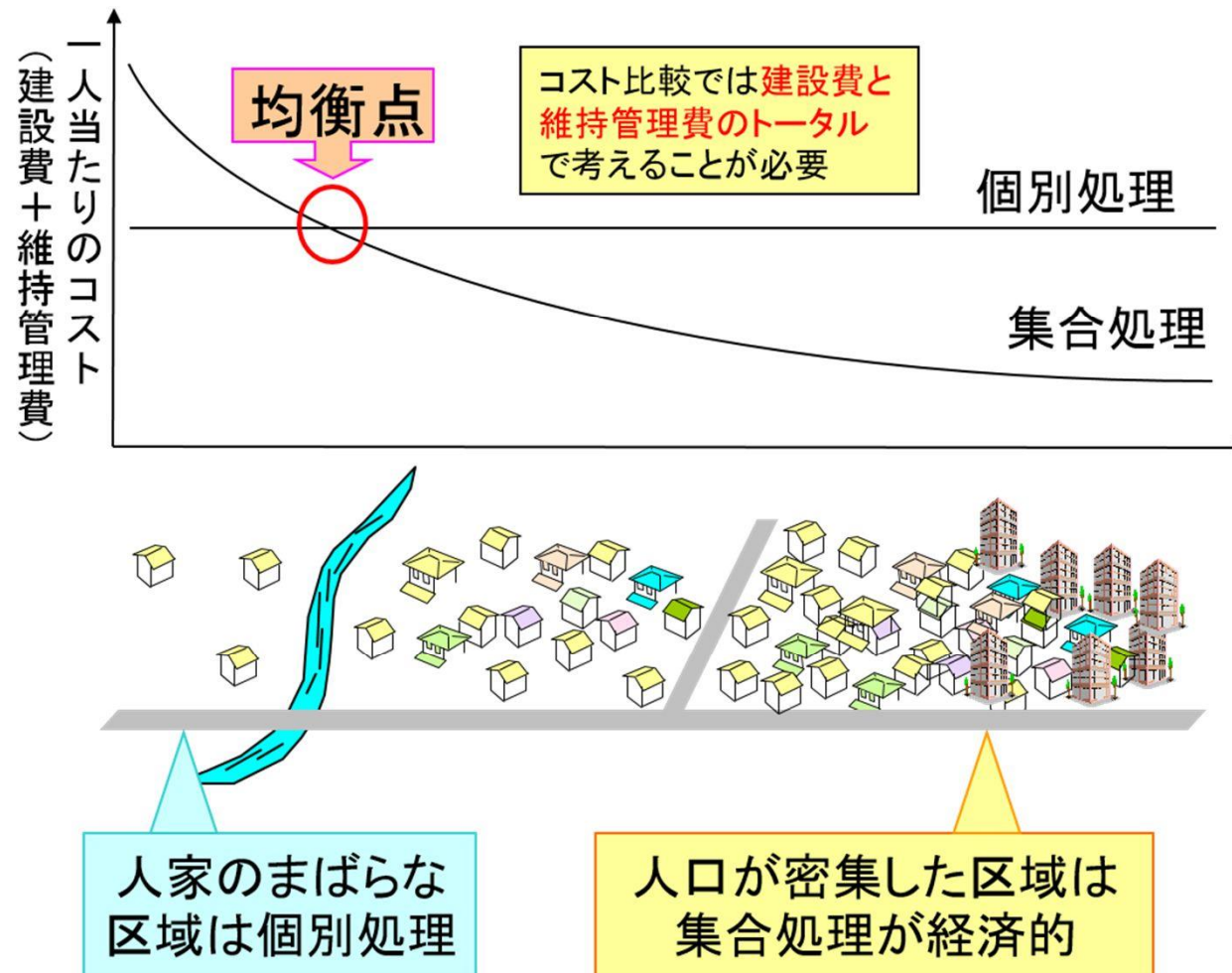
農村部の集落は
「農業集落排水施設」で整備

人家のまばらな周辺部は
「浄化槽」で整備



中心部は
「下水道」で整備

下水道の種類



下水道の普及について



凡例	
	公共下水道区域
	公共下水道区域(今回追加)
	農業集落排水地区
	林業集落排水地区
	合併処理浄化槽整備区域
●	公共下水道処理場
■	農(林)集落排水処理場

	R6. 4. 1現在 (R5年度決算値)	処理場	事業開始	管路延長	整備率	汚水処理 人口	汚水処理 人口普及率	水洗化率
集合処理	公共+特環下水道	3か所	昭和55年	約502km	88.7%	65,603人	81.8%	90.3%
	農林業集落排水	7か所	昭和62年	約44km	100.0%	3,317人	4.1%	91.0%
個別処理	戸別公共浄化槽	415基	平成15年	—	100.0%	992人	1.2%	90.4%
	個人設置型合併浄化槽					6,233人	7.8%	
				約546km		76,145人	95.0%	

(3) 下水道事業の経営状況について

越前市下水道事業経営戦略について

越前市下水道事業経営戦略

令和 7 年度 - 令和 18 年度
(2025 年度 - 2036 年度)



令和 7 年 3 月
越前市

越前市総合計画 2023

政策 25 暮らしを支える上下水道

基本方針

暮らしを支える将来にわたり
持続可能な下水道

基本目標

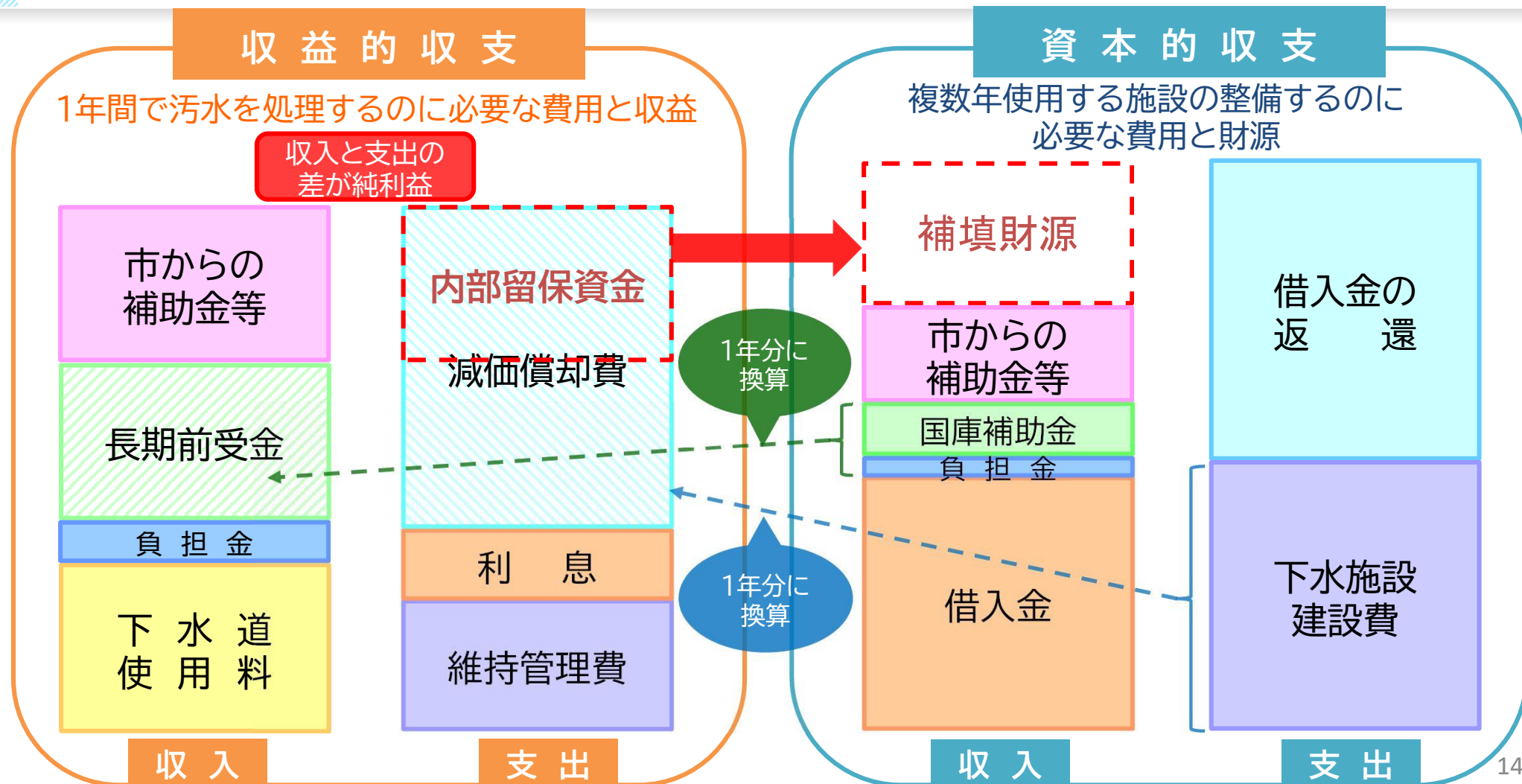
計画的な更新

適切な維持管理

経営基盤の強化

市の総合計画「政策25 暮らしを支える上下水道」に政策の目的とされている将来にわたって持続可能な下水道事業を実現するため、今後の人口減少による使用料収入の減少や、設備の計画的な更新、施設の適正な維持管理を計画に組み込み、経営基盤を強化するため、令和7年3月に改定を行った。

越前市下水道事業の経営状況について

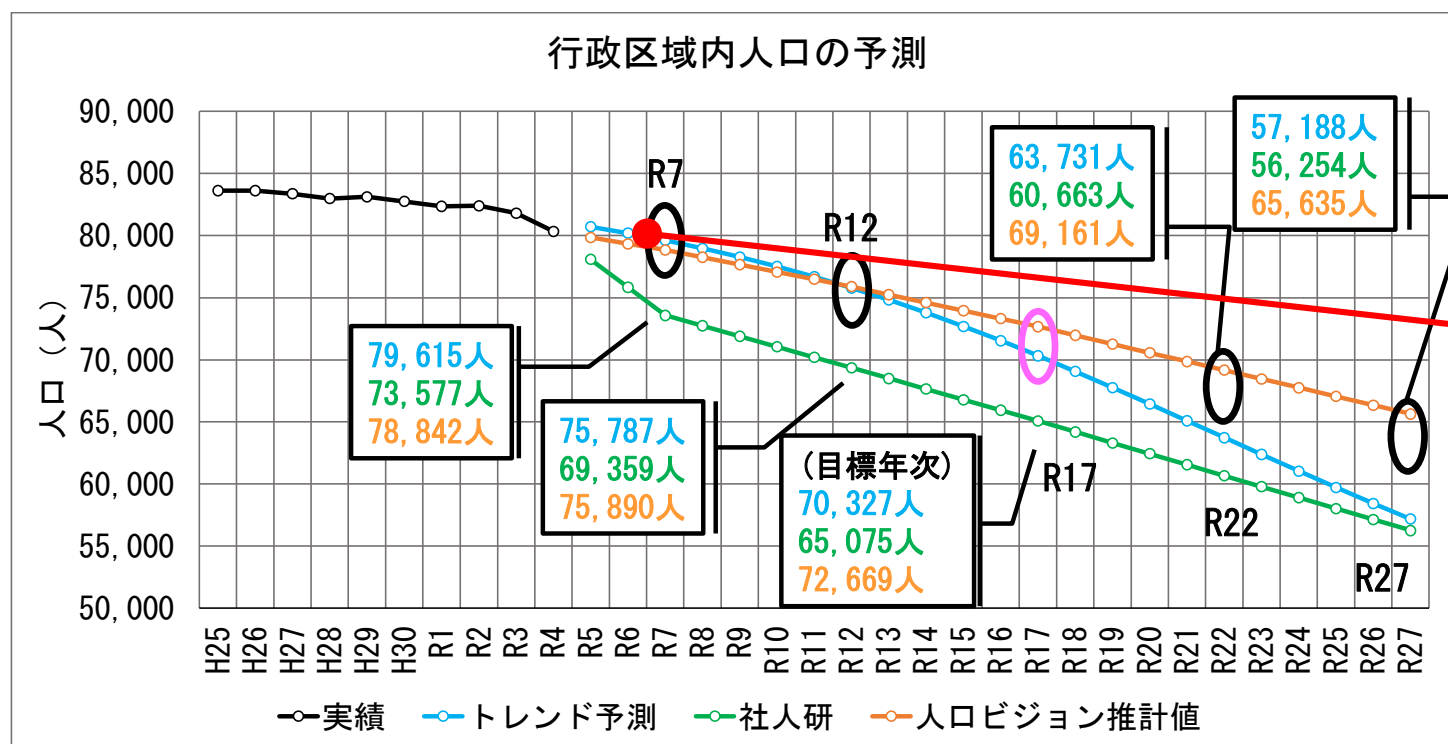


越前市の人口の見通し

複数の人口予測の指標からも大きく人口減少することが予想されている。

収益収入

下水道
使用料



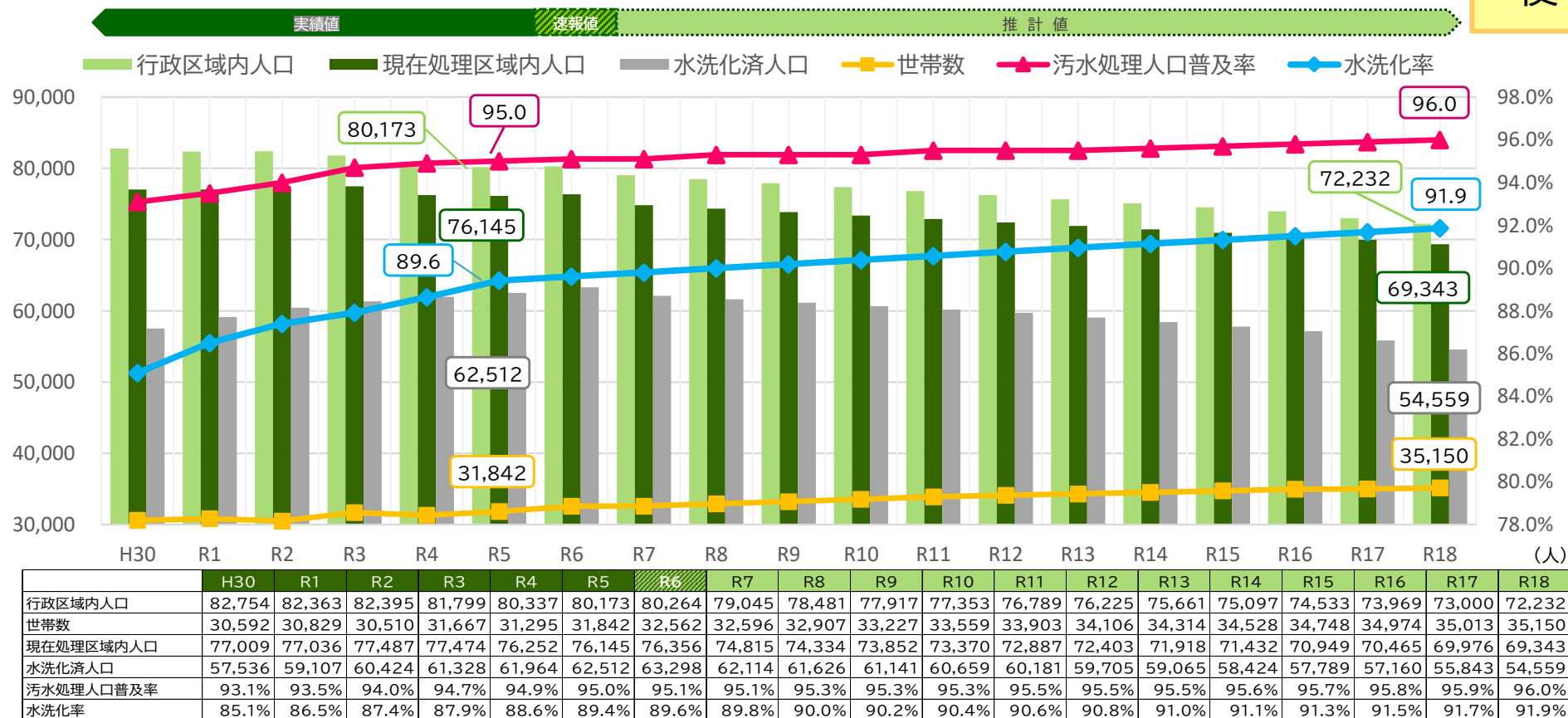
※図中の数値は、**上段**：トレンド予測、**中段**：社人研（H30. 3月）、**下段**：人口ビジョン推計値（R2. 3月）

越前市人口等の見通し

収益的収入

下水道
使用料

- ◆ 人口減少に伴い、処理区域内人口及び水洗化済人口ともに減少を見込む。単身世帯の増により世帯数は増加する見込み。污水处理人口普及率及び水洗化率は増加する見込み。



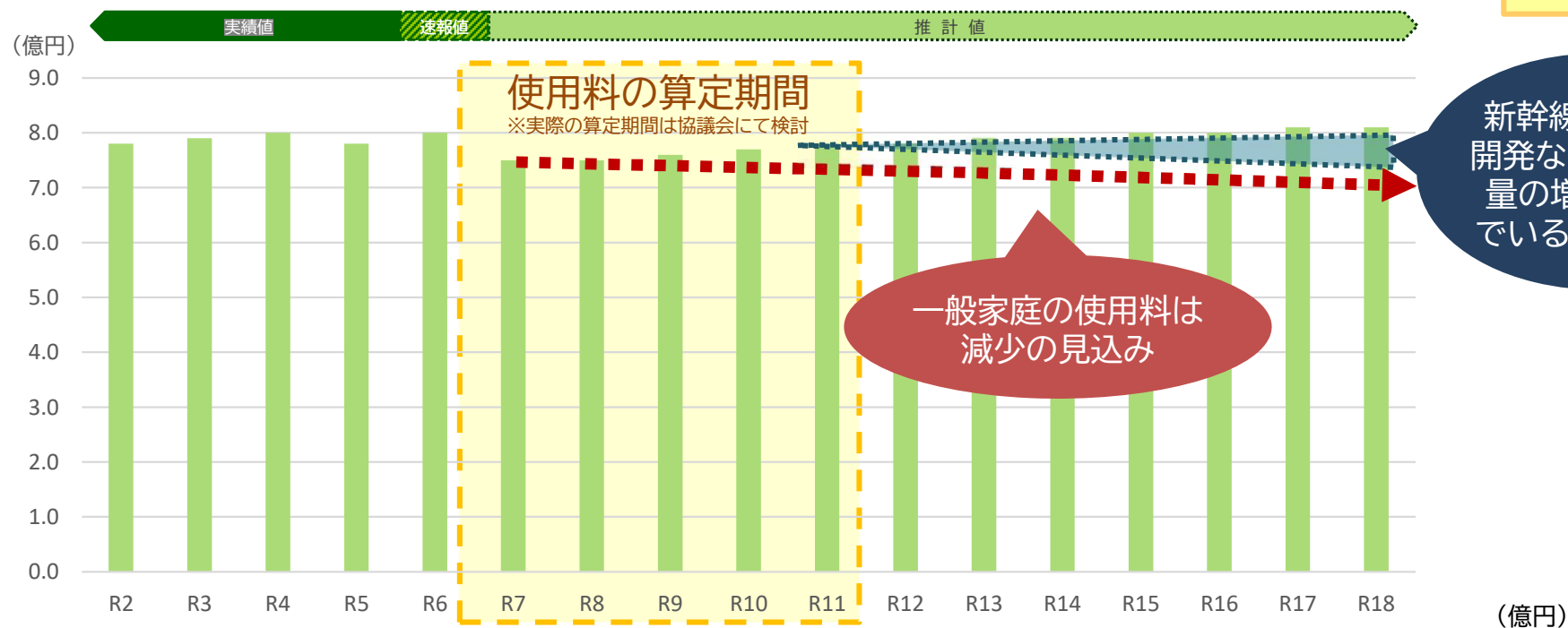
※R6は速報値

使用料収入の見通し

収益的収入

下水道
使用料

- ◆ 処理区域内人口及び現在水洗便所設置済人口の減少に伴い、一般家庭の使用料は減少の見込み。しかし、新幹線駅周辺の開発などを見込むと令和18年度まで横ばいとなる見込み。



	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18
使用料収入(税抜き)	7.8	7.9	8.0	7.8	8.0	7.5	7.5	7.6	7.7	7.8	7.8	7.9	7.9	8.0	8.0	8.1	8.1

※R6は速報値。コロナ禍明けの企業業績の回復などによる水量の回復や外国人市民の増によりR5を上回ったが、今後は総人口の減少に伴い減少の見込み。

経費の見通しについて

収益的支出

維持管理費

あらゆる経費については毎年の物価変動の影響が想定されるため、適切な将来の推計を作成するには物価変動も加味した数値での計画の作成が求められる。

物価上昇の参考資料

維持管理費

消費者物価指数

2020年(令和2年)を100とした場合、
⇒2024年2月現在106.9ポイント
(4年で6.9ポイント増)
⇒2025年3月では111.1ポイント
(5年で11.1ポイント増)

電気代等動力費

排水処理施設の電気代の推移
令和4年度に対し、
令和6年度は3割上昇
※政府軽減策を含んでいる

経営戦略上では毎年3%の物価上昇率を見込む
(R12年度からは1%)

改築更新費用

国交省 建設工事費デフレーター
・2020年(令和2年)4月 108.8
2025年(令和7年)2月 129.0
⇒5年で20ポイント増

工事設計単価

<公共工事労務単価(設計業務)>

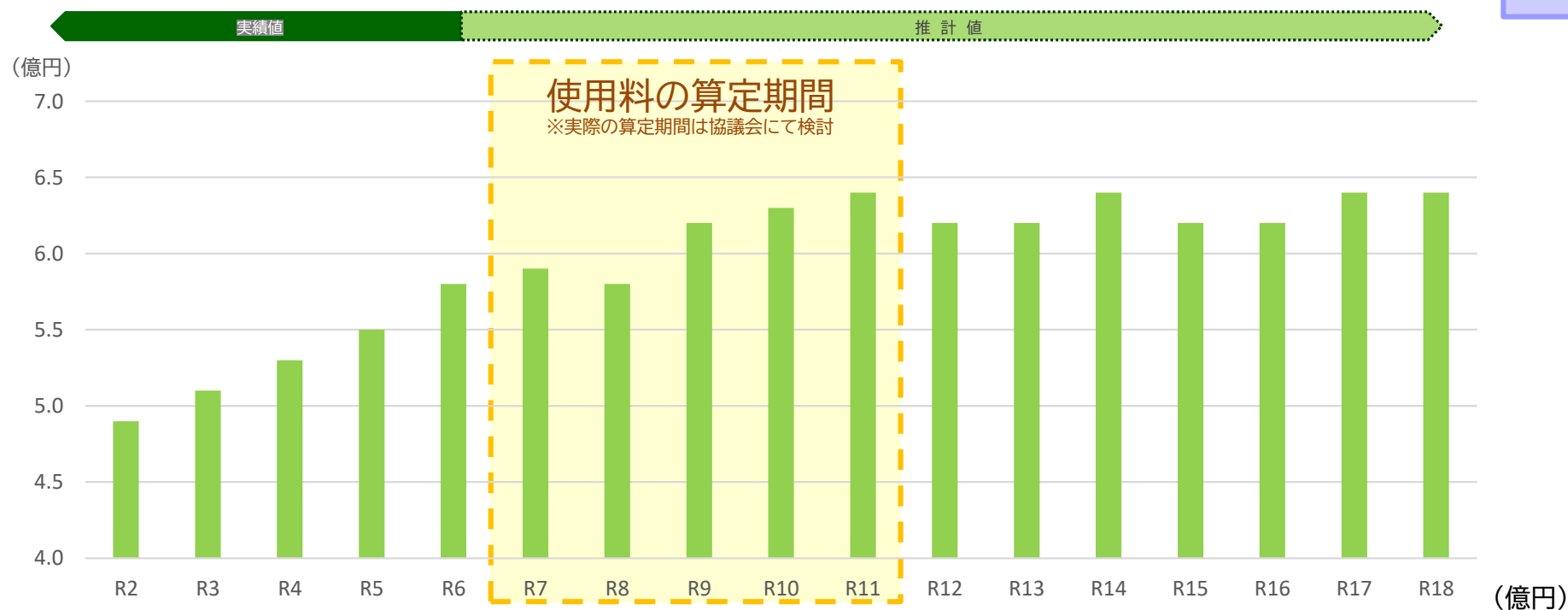
	R3.4	R7.4	伸び率
主任技術者	69,800	88,600	26.9%
主任技師	57,400	66,900	16.6%
技師A	51,200	59,600	16.4%
技師B	40,600	47,200	16.3%
技師C	32,800	40,300	22.9%
	50,360	60,520	20.2%

経費の見通し(人件費、燃料費、通信費、修繕費、委託料等)

収益的支出

維持管理費

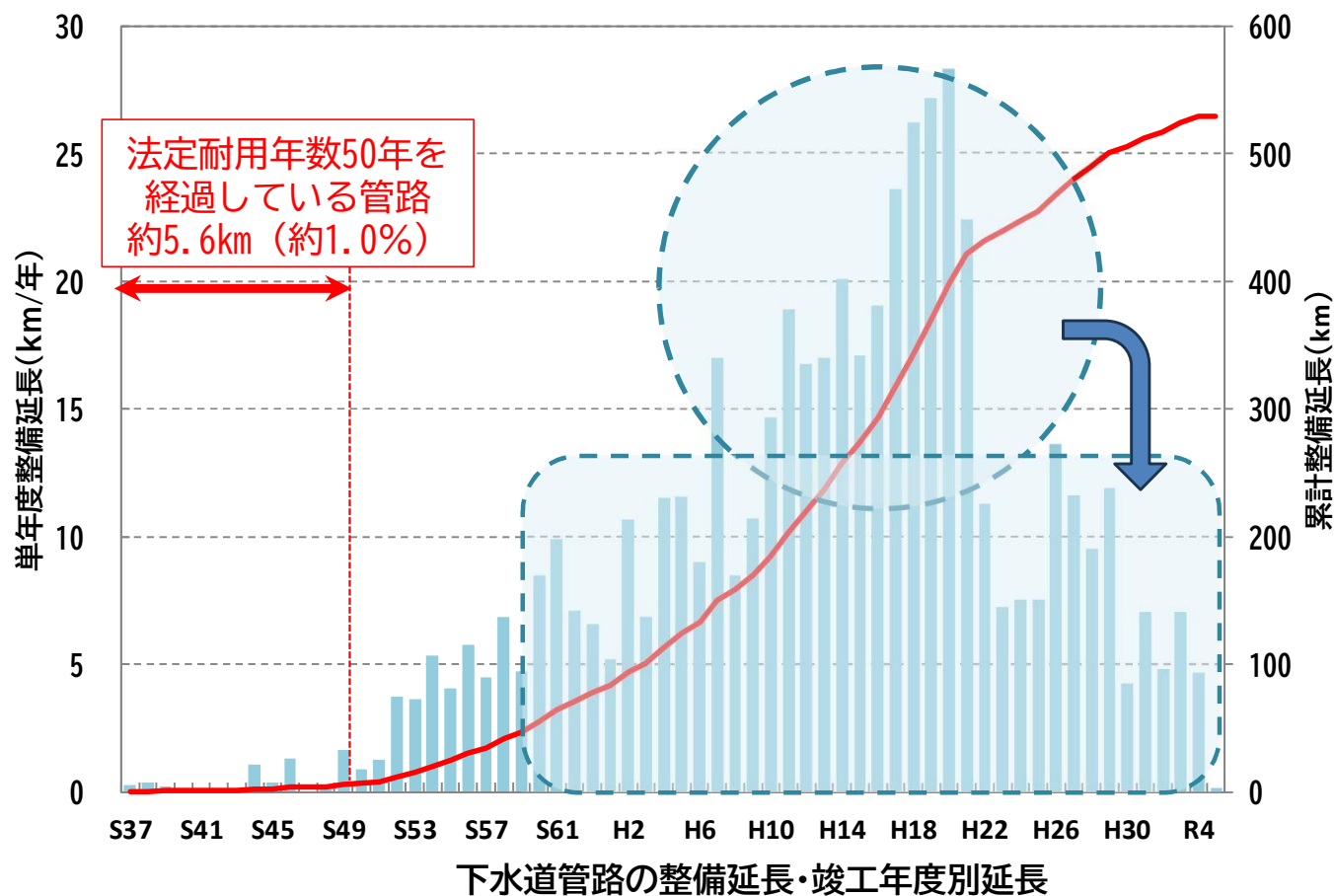
- ◆ 人件費や労務単価の増加に伴い、経費はR5年度に対してR18年度には16.4%の増を見込む。経営戦略上は年1%の増加を見込んでいる。委託料の契約更新時には大幅な経費増が見込まれる。



※年度によってばらつきがあるのは、数年に一度の事業(計画等)を策定する年度によって委託料の増減があるため

下水道管の状況

管路延長 污水管 約484km 雨水管 約 18km 農林集管 約 44km 合計 約546km



資本的支出

下水道施設
建設費

点 検

法定点検に基づいて行う。

法令路線+リスク評価の高い
路線の点検を行っている

更 新

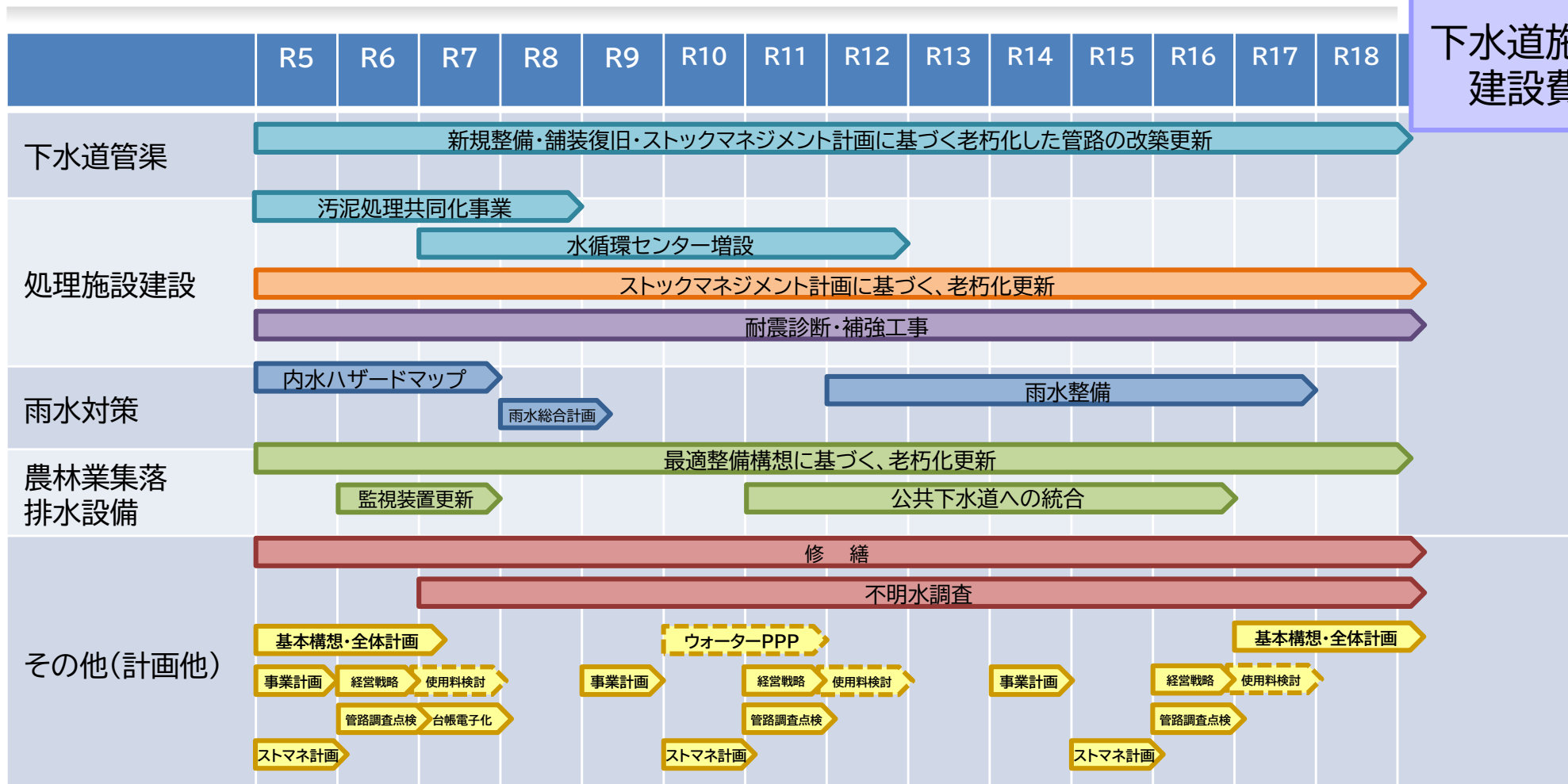
ストックマネジメント計画
に基づき行う。

ピークカットし平準化し更新
を進める。

今後の下水道事業の投資計画について

資本的支出

下水道施設
建設費



下水道事業の課題

収益的収支

水洗化率は年々増加していますが、人口の減少や節水機器等の普及に伴って家庭用の下水道使用料収入は減少傾向にあり、人件費や物価上昇により維持管理に係る費用の負担が大きくなっているため、適切な下水道使用料の検討が必要です。

資本的収支

公共下水道の施設整備は令和5年度に概ね整備を完了しました。全国で起こっている地震や道路陥没事故などを受け、今後は下水道管や処理施設の計画的な老朽化対策や耐震化が必要です。

7施設ある農林業集落排水施設においても老朽化が進行していますが、効率的な汚水処理事業を実現するために、施設の計画的な更新や公共下水道への統合などを検討する必要があります。

当協議会にて審議すること

(1)使用料対象経費の予測と使用料適正水準の検討

本市の下水道事業は使用料で回収すべき経費を使用料収入で賄えていない状況です。今後は、人口減少や物価高騰などの影響や施設等の老朽化に伴う更新需要の増大が見込まれることから、経営環境は一層厳しさを増していくものと考えられます。

サービスを持続的及び安定的に提供していくとともに、市民全体の公平な受益の観点を考慮し、地方公営企業の原則である独立採算を確実に達成し、繰入金に依存しない財政運営を行っていくために適正な使用料収入をもって自立的な経営を目指す必要があるため、使用料としてどの程度の水準が適正であるか検討します。

(2)使用料水準の見直しとその影響について

使用料水準については、本来であれば污水处理に係る経費を使用料収入で賄うことが望ましい姿ですが、協議会では污水处理原価となる各数値を適切に捉え、市民生活への影響を最大限に考慮し、今後の事業経営に必要となる使用料水準を検討します。

今後のスケジュール

項目	時期	令和7年									令和8年		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
現状分析			1										
課題整理					7月9日水曜日 午後1時半～								
使用料算定の考え方					2								
見直しの方向性													
新料金体系及び 複数シミュレーションの 検討						3							
改定案、答申案									4				
答申											5		
議会上程													
市民への周知													